

## 花粉症患者動向調査（世田谷区内クリニック）

浅香耳鼻咽喉科クリニック 浅香大也

スギ・ヒノキ花粉シーズンに、世田谷区の浅香耳鼻咽喉科クリニックを受診した花粉症患者の受診状況を調査した。

### 1 調査期間

令和3年1月4日～令和3年5月12日

### 2 調査内容

上記期間に来院したスギ・ヒノキ花粉症患者に対して、診療日ごとの初診患者数、再診患者数及び花粉症患者全体の症状の印象について調査を行った。また、日本アレルギー性鼻炎標準QOL調査票（別添1）を用いて初診時の自覚症状を検討した。

※ 初診・再診について

初診：調査シーズンにおける、症状が出てから初めての受診  
 （症状が出る前の初期治療としての受診は初診としない）

再診：初診としてカウントした後の受診

※ 飛散花粉数は、大田区のダーラム測定器で測定したデータを用いた。

※ 週計の期間は、患者数については月、火、木、金、土、飛散花粉数については日曜日～土曜日の合計数とした。

※ 初診時自覚症状と花粉数の相関に関する検討においては日曜日～土曜日の飛散花粉数の総和と月、火、木、金、土の患者の自覚症状の平均で検討した。

### 3 調査結果

#### （1）患者数と飛散花粉数（表1）

令和3年の飛散花粉数は、3,551個/cm<sup>3</sup>であり、前年の1.8倍だった。総患者数は1,187名で、前年の1.2倍だった。内訳では、初診患者数が1.3倍、再診患者数が1.1倍だった。令和3年の舌下免疫受診患者は159名であった。

昨年春と比較するとCOVID-19の特徴に対する理解が深まり、また花粉飛散数の増加も相まって初診患者全体数が増加した。また、初診患者の立ち上がりが1月第3週と例年より早かったのは、コロナ禍での花粉症治療（飛沫防止やCOVID-19との鑑別）の啓蒙が都民に浸透し、早めの診断治療を希望した患者が増加したためと思われる。一方ヒノキ花粉は昨年同様飛散が比較的少量で（大田区で451.5個）で初診患者数は3月最終週には終息した。再診患者数は、昨年に引き続き長期処方を行ったため350人にとどまった。

表1 患者数と飛散花粉数

	令和3年	令和2年	令和2年に対する比率
飛散花粉数(個/cm <sup>3</sup> /シーズン)	3,551	2,028	1.8
総患者数(初診+再診)(人)	1,187	953	1.2
初診患者数(人)	838	645	1.3
再診患者数(人)	350	315	1.1
舌下免疫療法を受けている患者数(人)	159	148	1.1
飛散開始日	2月6日	2月12日	

① 初診患者数の変動（図1-3）

- ・ 花粉の飛散開始日は2月6日で、前年と比べて6日早かった。
- ・ 初診患者数の立ち上がり（30名以上/週）は、1月18日～24日（令和3年第3週）であり、飛散開始日より約2週間早かった。
- ・ ピークの時期は、2月22日～28日（令和3年第8週）であり、前年（2月17日～23日令和2年第8週）より5日遅かった。
- ・ 初診患者数のピークは130名であり、前年（146人）の約0.9倍だった。
- ・ 初診患者の立ち上がりからピークまでは5週間であり、前年（2週間）よりも3週間長かった。
- ・ 初診患者数のピークの1週間後に飛散花粉数のピークとなった。

② 再診患者数の変動（図1-3）

- ・ 再診患者数の立ち上がり（30人以上/週）は、3月1日～7日（令和3年第9週）で、ピークは3月15日～21日（令和3年第11週）だった。

③ 飛散花粉数と初診時の自覚症状、QOLとの関連性（図2～図5）

自覚症状と花粉飛散数は例年通り有意に相関した ( $R^2=0.856$ )。昨年より花粉飛散数は多かったため、総合鼻症状スコアの平均が第9週に12点（鼻、眼の自覚症状がすべて2点以上）を超えた。また、症状スコアが10点をこえた週は昨年が1週であったのに対し今年4週あり（第8週～11週）、症状を強く訴える患者が多かった。これは昨年より花粉数が多く、新型コロナウイルス感染症の受診控えが緩んだ事も影響していると考えられる。QOLスコアの平均と花粉飛散数においても有意に相関した ( $R^2=0.826$ ) スコアのピークが自覚症状スコアのピークと同様3月1週（第9週）であり花粉数の影響を受けたと考えられる。

#### 4 まとめ

- ・ 令和3年の飛散花粉数は令和2年の1.8倍で、総患者数は1.2倍だった。内訳としては、初診患者数が1.3倍、再診患者数はほぼ同数であった。
- ・ 初診患者数のピークは花粉飛散数のピークより1週間早かった。
- ・ 花粉飛散数と自覚症状は有意に相関した。総合症状スコアの平均が12点（鼻、眼の自覚症状がすべて2点以上）を超えた週が1週あった。また、症状スコアが10点をこえた週は昨年が1週であったのに対し今年4週あり（第8週～11週）、症状を強く訴える患者が多かった。
- ・ 花粉飛散数とQOLスコアは有意に相関した。
- ・ 4月以降の花粉飛散数は少なく初診患者数も少なかった。

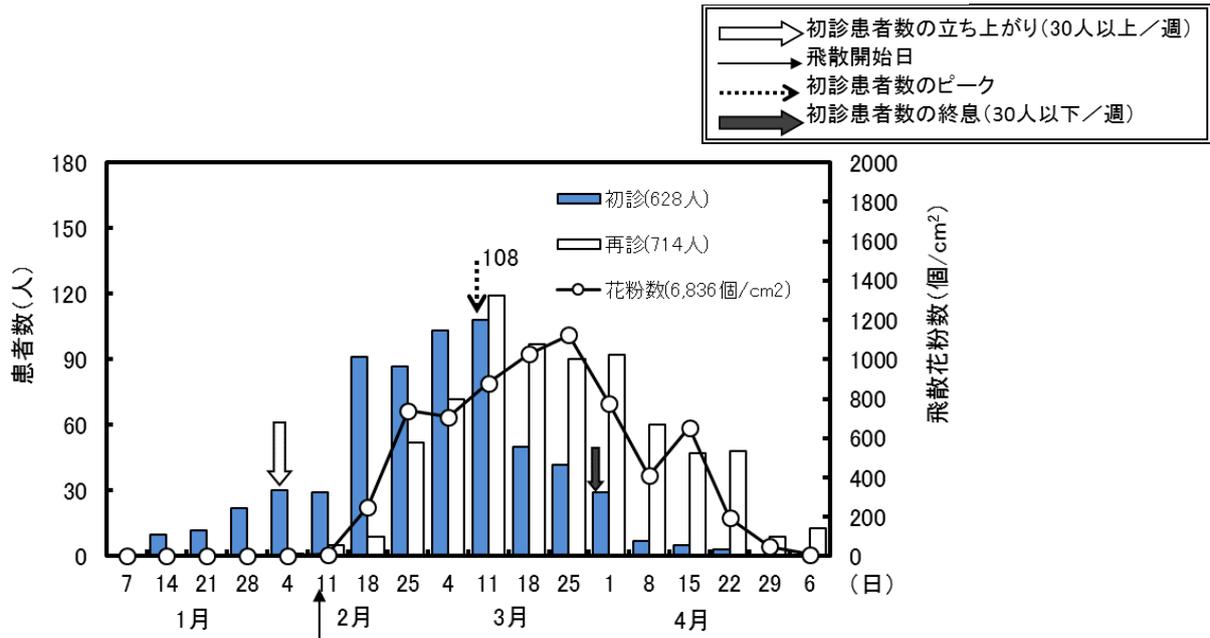


図1-1 週毎の患者数と飛散花粉数(平成31年(令和元年))

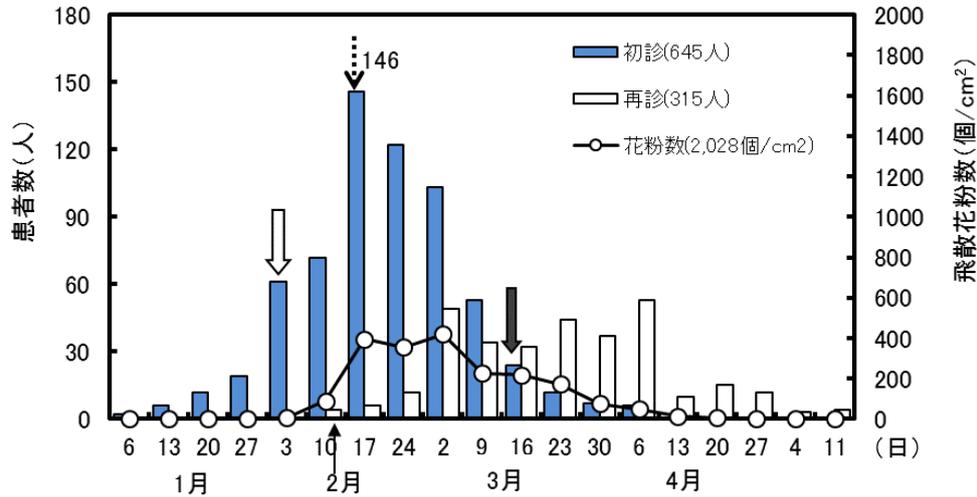


図1-2 週毎の患者数と飛散花粉数(令和2年)

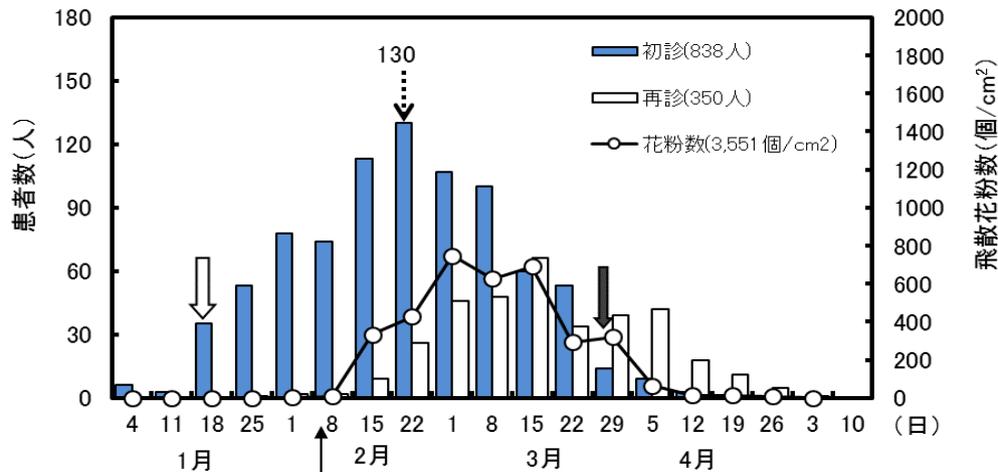


図1-3 週毎の患者数と飛散花粉数(令和3年)

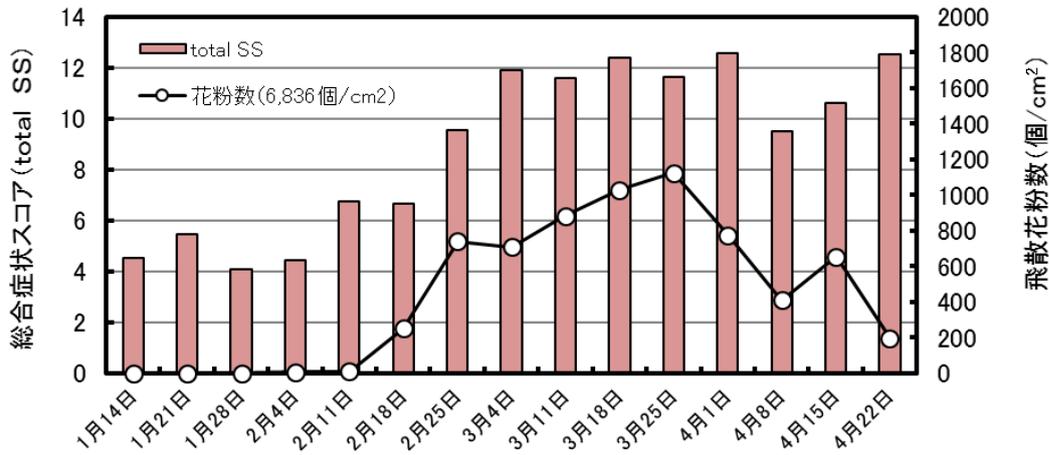


図2-1 週毎の飛散花粉数と総合症状スコアの平均（平成31年（令和元年））

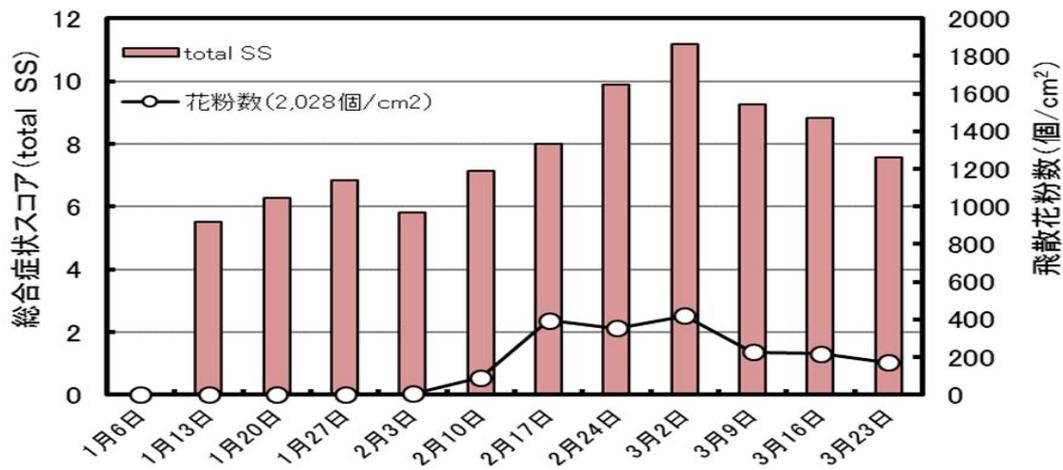


図2-2 週毎の飛散花粉数と総合症状スコアの平均（令和2年）

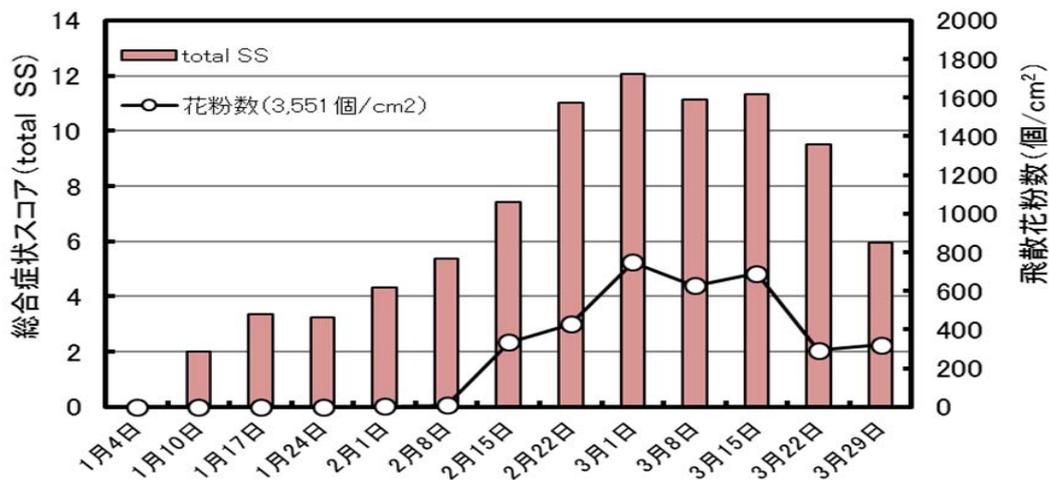


図2-3 週毎の飛散花粉数と総合症状スコアの平均（令和3年）

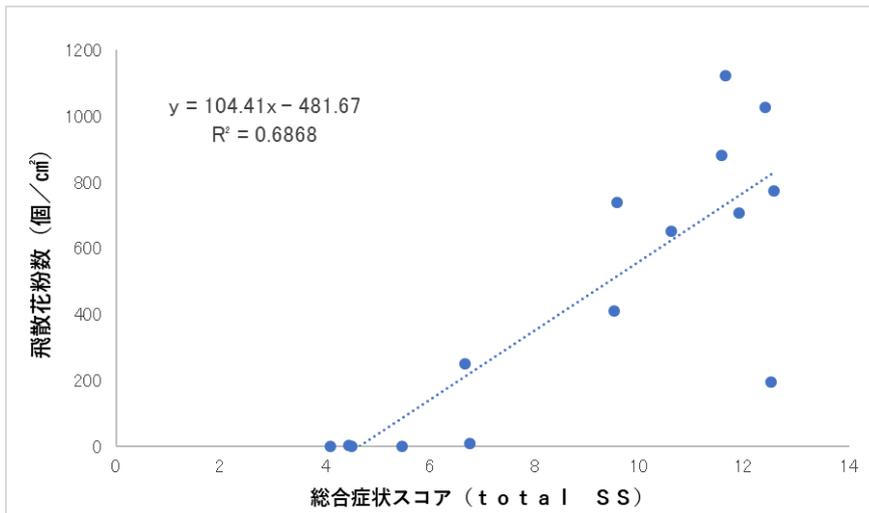


図3-1 週毎の飛散花粉数と総合症状スコアの平均との相関 (平成31年(令和元年))

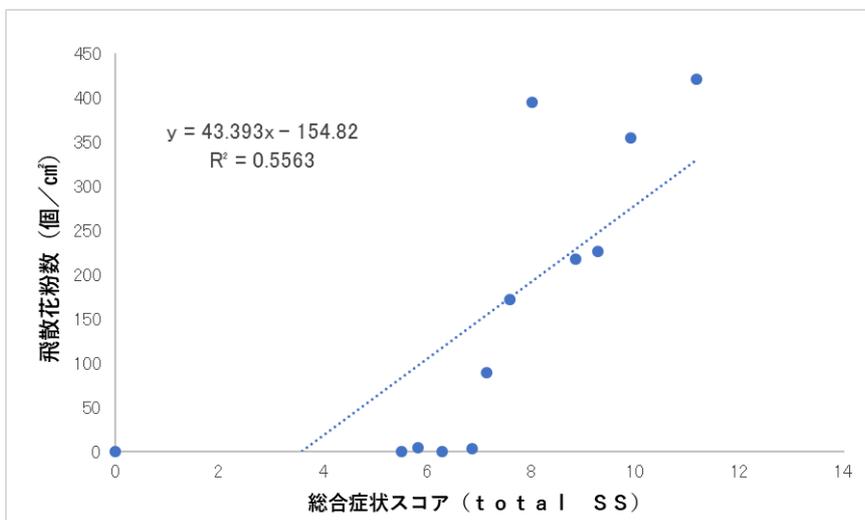


図3-2 週毎の飛散花粉数と総合症状スコアの平均との相関 (令和2年)

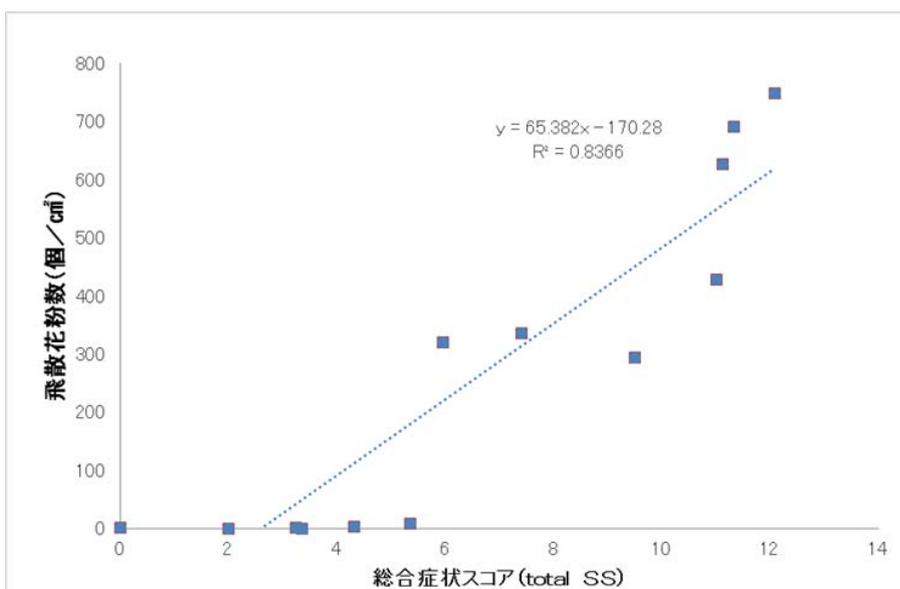


図3-3 週毎の飛散花粉数と総合症状スコアの平均との相関 (令和3年)

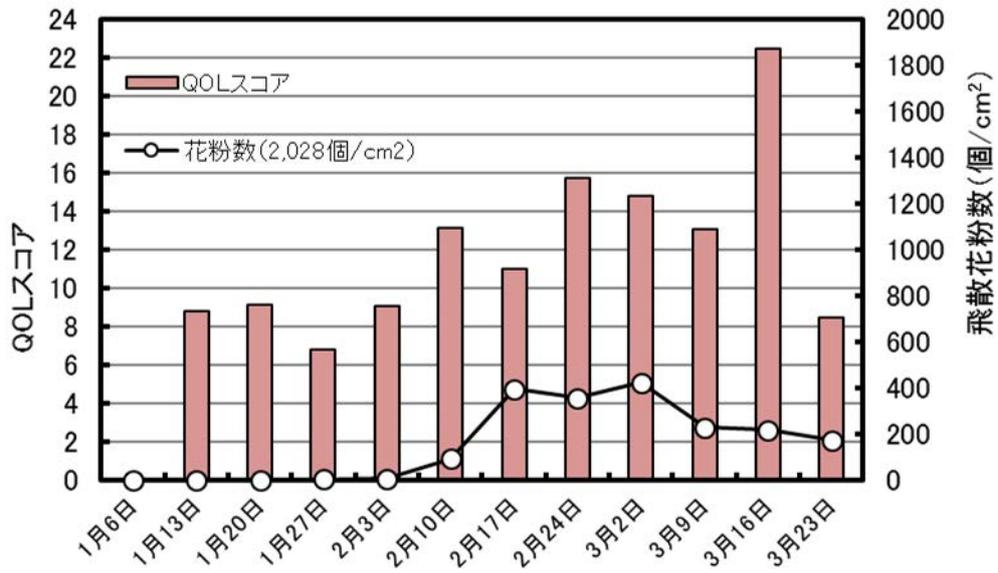


図4-1 週毎の飛散花粉数とQOLスコアの平均（令和2年）

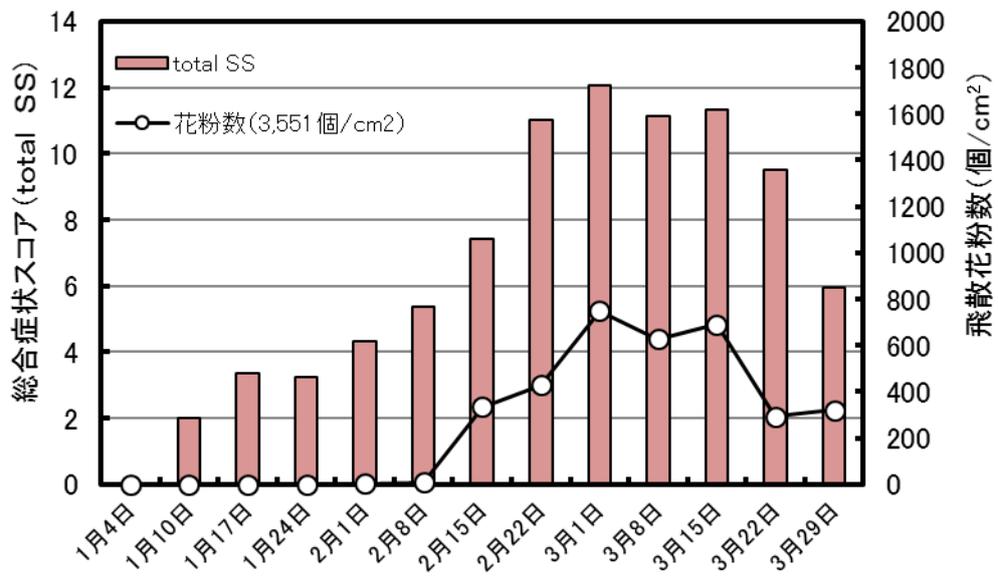


図4-2 週毎の飛散花粉数とQOLスコアの平均（令和3年）

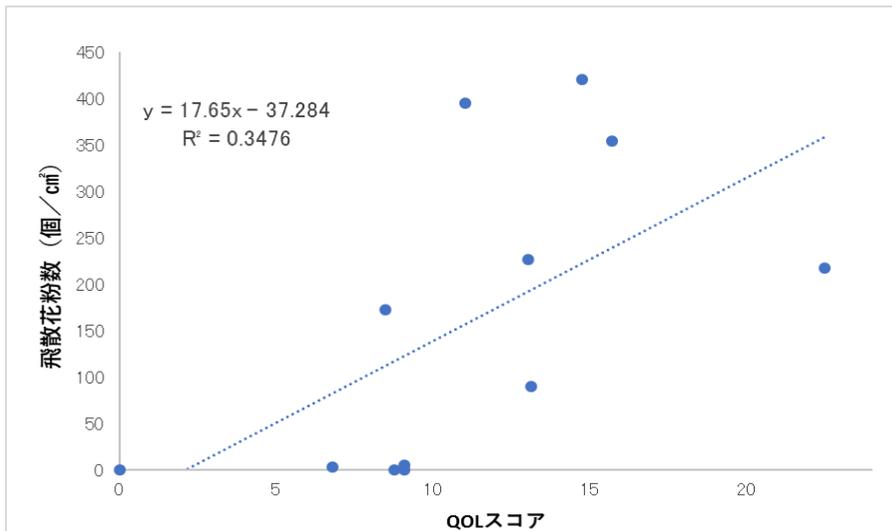


図5-1 週毎の飛散花粉数とQOLスコアの平均との相関（令和2年）

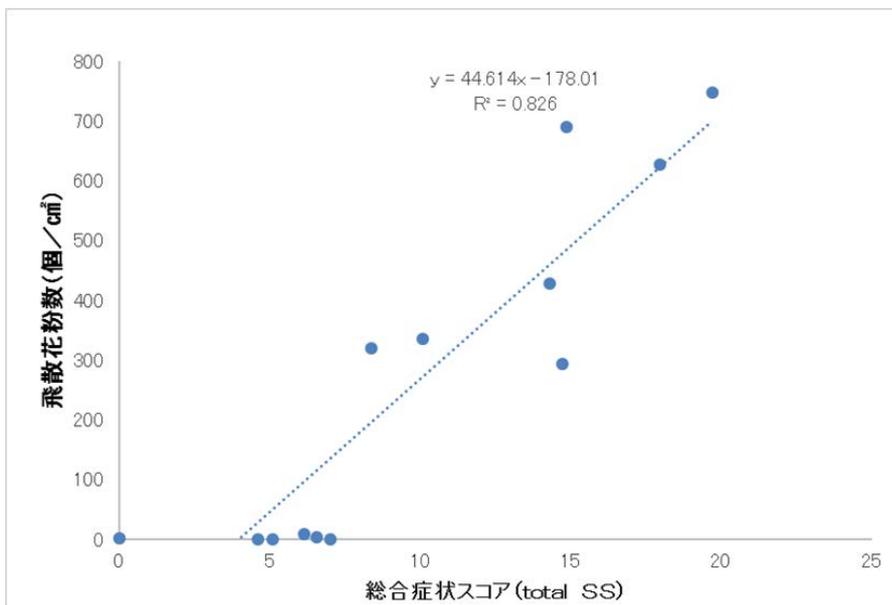


図5-2 週毎の飛散花粉数とQOLスコアの平均との相関（令和3年）

# 日本アレルギー性鼻炎標準QOL調査票 (JRQLQ No1)

## アレルギー性鼻炎(花粉症を含む)患者さんへ

現在の医療では、体の異常を出すだけでなく、患者さんがよりよい生活ができるよう治療すべきという考えが広がっています。そこであなたの病気がどれ位生活を障害し、治療により改善されるか調査するものなので、ご協力下さい。これは診療上の規則に従い、あなたのプライバシーは厳く守られます。

以下の問いは難しく考えると答えられないかも知れませんが、あなたの印象で答えてください。

I 最近1～2週間でもっともひどかった朝・朝の症状の程度について、〇印をそれぞれつけて下さい。

朝・朝の症状	0 軽い	1 やや重い	2 やや重い	3 重い	4 非常に重い
水っぽさ	<input type="checkbox"/>				
くしゃみ	<input type="checkbox"/>				
鼻づまり	<input type="checkbox"/>				
鼻のかゆみ	<input type="checkbox"/>				
目のかゆみ	<input type="checkbox"/>				
涙目(等み始め)	<input type="checkbox"/>				

II Iの症状(鼻・眼)のために、同じく最近1～2週間でもっともひどかったQOL質問項目の程度について、〇印をそれぞれつけて下さい。Iの症状(鼻・眼)と関係がないことがはっきりしている項目はなしの口に×印をして下さい。

QOL質問項目	0 軽い	1 やや重い	2 やや重い	3 重い	4 非常に重い
1. 気分・仕事・家事の支障(さしさわり)	<input type="checkbox"/>				
2. 精神集中不良	<input type="checkbox"/>				
3. 思考力の低下(考えがまとまらない)	<input type="checkbox"/>				
4. 記憶や読書の支障(不意)	<input type="checkbox"/>				
5. 記憶の低下(ものおぼえが悪い)	<input type="checkbox"/>				
6. スポーツ、パソコンなど趣味生活の支障	<input type="checkbox"/>				
7. 外出の支障(控えがちな)	<input type="checkbox"/>				
8. 人とつきあいの支障(控えがちな)	<input type="checkbox"/>				
9. 他人と会話・電話の支障(さしさわり)	<input type="checkbox"/>				
10. まわりの人が驚くことになる	<input type="checkbox"/>				

鼻につく

11. 睡眠障害(眠りが深くない)
12. 機嫌(けんたい)悪(だるい)
13. 疲労(つかれやす)
14. 気分が落ちない
15. いらぬ感
16. けつうつ
17. 生活に不満定

## III 総括的状態

最近1～2週間のあなたの状態(症状、生活や気分を含めて)全般を表わす顔の番号に〇印をつけて下さい。



記入もれはありませんか？ 今一度みて下さい。ご協力ありがとうございます。

●これ以下は記入しないで下さい。

氏名	ひらがな	年齢	性別	男・女	
住所	〒	市	区	町	
電話番号	〒	市	区	町	
職業	学生	会社員	専業主婦	その他	
学歴	小学校	中学校	高等学校	大学	
収入	なし	1点	2点	3点	4点
家族構成	単身	夫婦	夫婦+子供	その他	
調査日	年	月	日		

調査結果の記入方法

1. 1～4点のいずれかを選択し、その数字を記入欄に記入して下さい。

2. 1～4点のいずれかを選択し、その数字を記入欄に記入して下さい。

3. 1～4点のいずれかを選択し、その数字を記入欄に記入して下さい。

4. 1～4点のいずれかを選択し、その数字を記入欄に記入して下さい。

5. 1～4点のいずれかを選択し、その数字を記入欄に記入して下さい。

6. 1～4点のいずれかを選択し、その数字を記入欄に記入して下さい。

7. 1～4点のいずれかを選択し、その数字を記入欄に記入して下さい。

8. 1～4点のいずれかを選択し、その数字を記入欄に記入して下さい。

9. 1～4点のいずれかを選択し、その数字を記入欄に記入して下さい。

10. 1～4点のいずれかを選択し、その数字を記入欄に記入して下さい。

(表 質問紙、調査、結果、200)